

国立 12 大学「新テストに対するアンケート」結果より

——高校が望んでいるものは何なのか——

高木 繁, 林 篤裕 (名古屋工業大学)

英語 4 技能外部試験の導入・調査書の積極的な利用と 2021 年度入試では大きな変革が起こる。ガイドラインは提示されているものの、利用法は各大学に任されている状態である。国立 12 大学としては、高校側がどのような利用法を望んでいるのかを知ることが重要であると考え、国立 12 大学ホームページに web アンケートを設置した。web アンケートの可能性と有効な手段となりうるのかの検証を行うことも目的とした。アンケート結果では、高校側はあまり大きな変革は望んでいないということは確認できたが、変革を歓迎している意見もあり、高校間の温度差が大きいことが確認された。また、短期間で 200 校以上からの回答を得ることができ、集計も比較的容易に行えたので、web アンケートは有効な手段であることが確認された。

キーワード：web アンケート, 2021 年度入試, 新テスト

1 序論

2021 年度入試におけるセンター試験に代わる新テスト（ここでは、アンケート実施時に使っていた新テストという名称を用いていく）については、英語 4 技能外部試験の導入など大きな変更が含まれている。各大学で 2 年前告知を行う必要があるが、昨年 of 全国大学入学者選抜研究連絡協議会（以下、入研協とする）の時点では、そのための判断材料がほとんどなかった。そこで、昨年 of 入研協の会場において、いくつかの大学と協議して、国立 12 大学として高校教員にアンケートをとって、その結果を共有していこうという方針を決定した。これまでに、国立 12 大学としては紙媒体のアンケートを実施したことはあるが、あまり時間がないということもあり、集計結果のリアルタイムな共有が可能である web アンケートを採用することにした。プログラミングの素人で情報を専門とするわけではない人間にとって web アンケートが気軽に利用可能であるのか、そして有効な手段となり得るのかについての検証を行うことも目的とした。高校へのアンケートの協力依頼は、各県内の大学から高校の進路指導宛ての依頼文の形で郵送した。ただし、アンケート実施時点で、信州大学と富山大学はすでに方針が決定していたため、混乱を避けるために長野県と富山県の高校には依頼文は送らなかった。

2 調査方法

web アンケートは、国立 12 大学の HP の中に cgi を置くという形式で行った。アンケートサイトに、パスワードを設定することも可能であったが、パスワー

ドが伝わらなかったために参加できなかったと言うことを避ける（さらに、荒らしのような行為が実際に行われるのかどうかを確認する）ために、自由にアクセスできるようにした。特に荒らしのようなことは起きていなかった。使用した cgi は「フリー cgi 提供サイト CGIKON」

http://cgikon.com/free_file/file_308.html

の anketo.cgi を使用した。実際の運用に当たって、言語を perl に書き換えて使用したが、プログラムの内容は同じになるようにした。このソフトには、設置が容易であること、設置後に質問項目を自由に追加・変更できること、ラジオボタン、スクロール、自由記述など回答形式の自由度が大きいという特色がある。

アンケート依頼文の送付時期は 7 月中旬で、8 月中に回答してもらうように依頼した。各高校の意見を進路指導室としてまとめた結果を提出してもらったので、1 高校で 1 回答になっている。

3 アンケート項目

今回のアンケートでの質問項目は、全部で 16 の質問になっており、表 1 にアンケート質問項目のまとめを示す。表 1 のあとに、各アンケート項目の具体的な内容を示すが、ラジオボタン形式の場合、web アンケート上では、a, b はつけていないが、わかりやすくするために、各項目に a, b を付けて示してある。アンケート内では、英語 4 技能外部試験は質問の中では「4 技能試験」と略しているのので、以下「4 技能試験」と表記することとする。

表1 アンケート質問項目

高校の属性		
質問1	所在地	ラジオボタン形式
質問2	質問1の補足	自由記述
質問3	国公立か私立か	ラジオボタン形式
質問4	高校名	自由記述
4技能試験		
質問5	活用法	ラジオボタン形式
質問6	加点方式の総点	ラジオボタン形式
質問7	質問6の補足	自由記述
質問8	加点方式の内訳	自由記述
質問9	その他の意見	自由記述
調査書		
質問10	評定平均の点数化	ラジオボタン形式
質問11	評定の点数化	ラジオボタン形式
質問12	学習履歴の点数化	ラジオボタン形式
質問13	学習履歴利用への意見	自由記述
質問14	調査書利用への意見	自由記述
その他		
質問15	英語試験廃止について	自由記述
質問16	その他の意見	自由記述

- 【質問1】 高校の所在地を選んでください
a 愛知 b 岐阜 c 三重 d 静岡 e 福井 f 石川
g 富山 h 長野 i その他
- 【質問2】 質問1でその他を選んだ方は、都道府県名をご記入ください。
- 【質問3】 国公立か私立かを選んでください。
- 【質問4】 高校名をご記入ください。
- 【質問5】 4技能試験の活用法で好ましいものを選んでください。
a 受験資格（レベル関係なし） b 受験資格（A1以上）
c 受験資格（A2以上） d 点数化して加点する
- 【質問6】 点数化について、旧センター試験英語の200点に加点する場合の4技能の加点は何点が好ましいかを選んでください
a 0点（加点無し） b 10点 c 20点 d 30点 e 40点
f 50点 g その他
- 【質問7】 質問6でその他を選んだ方は、どのような点数が好ましいかをご記入ください。
- 【質問8】 加点をする場合、各レベルの配点について、どのような配点が好ましいかをご記入ください。例えば、どのレベルでも同じ点を加点する、1つレベルが上がるごとに一定の点数を積み増して加点する、A2

～B2までとC1・C2では異なる点数を加点する、等の方法が考えられます。

【質問9】 4技能試験の採用について、他にご意見がありましたら、自由にご記入ください。

【質問10】 調査書の点数化について、個別試験において評定平均を点数化して用いることの賛否をお答えください。

a 賛成 b 反対 c どちらでもない

【質問11】 調査書の点数化について、個別試験において評定（AA, A, Bなど）を点数化して用いるという考え方もあります。賛否をお答えください。

a 賛成 b 反対 c どちらでもない

【質問12】 学習の履歴（ポートフォリオ）を個別試験で点数化して用いることについて、好ましいものを選んでください。

a 賛成 b 反対 c どちらでもない

【質問13】 学習の履歴の利用について、推薦入試やAO入試では佐賀大学が示しているように、利用するという方向性も出されています。逆に、0または1以外の評価は不可能であるという意見も多くあります。何か、ご意見があれば、お願いいたします。

【質問14】 調査書の活用方法について、このようなのが欲しいというご希望があれば、自由にご記入ください。

【質問15】 2024年度入試からは、英語の試験そのものが共通テストでは廃止になるという話もあります。このことに関する、ご意見もいただければと思います。

【質問16】 こういったことも考えて欲しいというご意見がありましたら、自由にお書きください。

4 アンケート結果

アンケート結果については以下の通りである。自由記述以外のアンケートでは、未回答を入れると、全ての回答数がN=209になっている。また、国立大学協会は「国大協」と略して表記する。

【質問1～3について】 愛知 73, 岐阜 55, 静岡 48, 石川 13, 福井 12, 三重 7, 香川 1であった。香川県には特に案内をだしていなかったが、国立12大学のHPをみて回答してくれたものであった。公立高校が75%, 私立高校が25%であった。

【質問5について】 ここでは、出願資格と受験資格は同一のものとしている。アンケート結果を図1に示す。

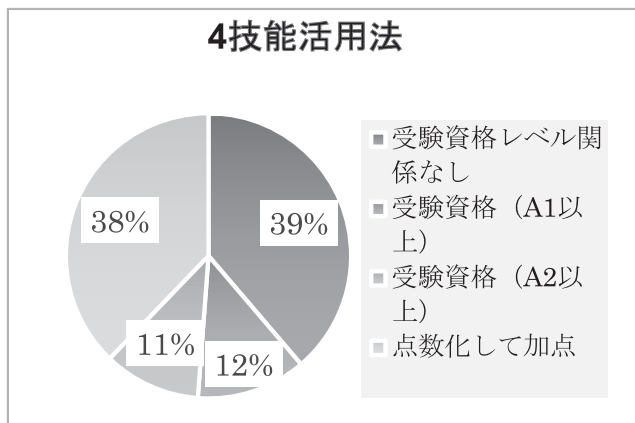


図1 質問5の回答

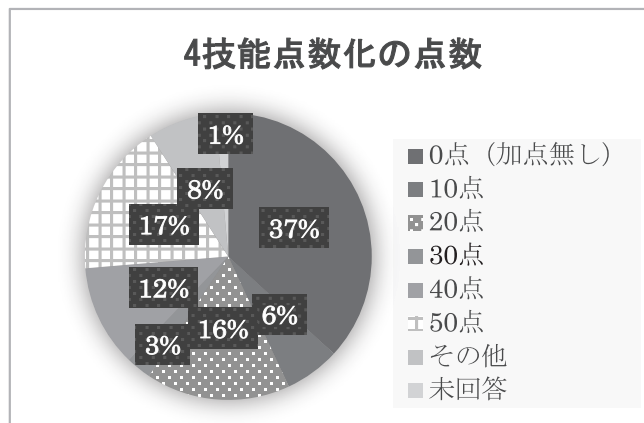


図2 質問6の結果

結果としては、当時、東大が発表していた「レベルは関係無しで受験資格とする」と「点数化して加点」が39% (81校) と38% (80校) でほぼ同数になっている。受験資格として、レベルを指定する場合にはA1以上とA2以上が共に25校前後とそれなりの数になっている。ただし、CEFRのA1レベルが最低レベルと考えている高校も多いので、事実上、A1以上は、「受験資格レベル関係無し」と同様に考えていると想定され、51% (全体の半分) が受験資格化を望んでいるということが確認される。「A2以上を受験資格」と回答している高校は、国大協がA1を足切り対象とする例も示していたため、それを受けた結果だと考えられる。「点数化して加点」も国大協が示した例の1つであるが、それなりに支持が多い点が特色である。しかし、「点数化して加点」を選んだ高校でも、自由記述を見ていると「せっかく4技能を取り入れるのだから、ある程度差がつくようにしてほしい」という肯定的な意見よりも、「1つの方策としてやむを得ない」「全員に同じ点数を加点」などの否定的な意見の方が多かった。

【質問6・7について】

加点方式にした場合の点数に関するアンケートである。図2に、質問6の結果を示す。

40点と50点は解釈が難しいが、国大協が例示した20%を加点という表現の解釈の違いが混在した結果だと思われる。センター試験の英語(マーク式)を200点に換算したものをベースにすると20%だと40点、リスニングを合わせた250点をベースとすると50点になる。おそらく、40点と50点と回答した高校は、20%という国大協の提示したラインに従った回答のつもりだと考えられ、全体の29%になる。

「0点(加点無し)」と回答した高校はすべて、質問5の「受験資格(レベル関係なし)」を回答した高校であった。逆に、質問5で「受験資格(レベル関係なし)」と回答した高校81校のうち10点が3校、20点が11校、40点または50点が13校と結構わかれていた。低い点数(20点以下)のところは、使うにしてもなるべく影響を少なくして欲しいという要求であると考えられる。単純に整理すると、0点から20点の間で、なるべく影響を少なくして欲しいという回答が約6割(59%)、国大協の示す20%のラインに合わせる(40点または50点)が約3割(29%)と、2:1になっている状況である。どちらを重視するか、各大学での判断が難しいところである。20%ラインの回答の高校の自由記述を見ると、3校ではあるが「4技能を採用するのだから、せめてそれくらいの点数で評価してほしい」という意見もあった。「その他」の回答に関しては、学部によって変えるなど自由裁量に任せるといった意見が多かったが、高い点数を求める意見は特になかった。

【質問8について】大まかに区分して整理した。結果を表2にまとめる

表2 質問8の自由記述のまとめ

分類	高校数
レベルが1つ上がるごとに、一定の点数を加算	79
もう少し粗い分類でレベル分けして一定の点数を加算	12
全員に同じ加点にする	12
加点には反対	9
未回答	56

【質問9について】単純に整理すると表3のようになった。

表3 質問9の自由記述のまとめ

分類	高校数
公平性に疑問がある	65
金銭的問題および回数・試験会場の問題	21
英語だけを評価基準とするのか疑問	4

そもそも CEFR（民間実施の外部試験と捉えている高校も沢山ある）の段階評価が信用できるのかわからないという意見がかなりあった。この回答には2つの側面があり、CEFRの段階評価そのものに意味が無いという意見（英語の専門家の間では、CEFRは英語の能力を測る基準ではないという意見があるので、それに基づいたものだと思われる）と、当時は認可される前だったので様々な試験が存在しており、「レベルの統一が出来ていない（東大が指摘している点と同じ内容と思われる）のに、それを入試に使って良いのか」という意見にわかれている。公平性に何らかの問題があるという回答が65校であったが、その中で金銭的問題、地域間格差による試験会場・試験回数の制限が問題であるとしたものが21校あった。そもそも、英語だけ、何故重視するのかわからないという回答が4校あった。その中には、質問8でも見られたように、統一試験を行うべきと言う意見も見られた。これは、現行のセンター試験の中に組み入れれば良いという意見と考えられる。

【質問10～12について】調査書の点数化とポートフォリオの利用について

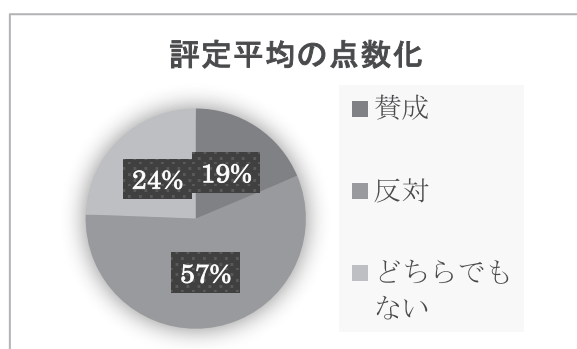


図3 質問10の結果

図3に質問10の結果、図4に質問11の結果を示す。

調査書の点数化については、評定平均の数値そのものを使うにしろ、評定(Aなど)を点数化するにしろ反対が6割近くになっている。図5に質問12の結果

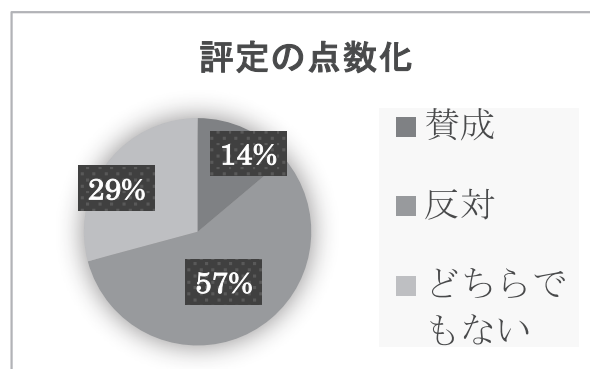


図4 質問11の結果

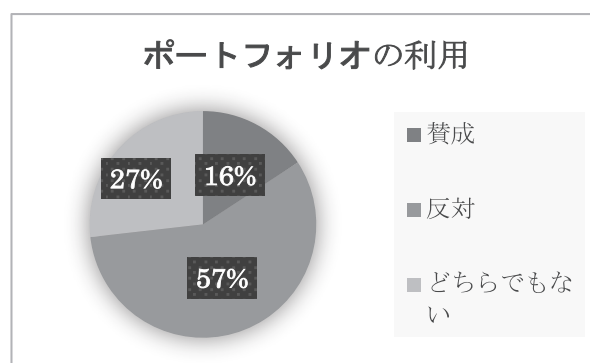


図5 質問12の結果

を示すが、ポートフォリオの利用に関しても、評定の点数化同様に反対のものが多。

この3つの質問の回答では、反対の割合がいずれも57%と同じであり、賛成の比率は異なっている。反対を選んだものに関しては、3つとも反対という高校が多かったが、賛成については同じ高校が常に賛成と言うわけではなく、ある質問では「どちらでもない」になっているところがそれなりにあった。

4 残りの質問（自由記述）のまとめ

自由記述についてはテキストマイニングの手法を用いたわけではなく、キーワード分類だけの分析の結果になっている点をご了承いただきたい。

【質問13について】0または1以外の評価、の意味がわからないというコメントもあったが、記述のあるなし（あれば1で、なければ0）だけの判定は可能であるが、「ある」という場合に、得点を標準化することは、不可能ではないかという意味で用いている。公平性について心配する記述が多く、推薦入試やAO入試ならとにかく、個別試験での利用は無理では

ないかという意見が 3 割以上あった。公平性は学校間格差と明記してあるものが多く見られたが、単純に公平性とししか書いていないものも同一に扱った。また、普段の活動の点数化は不可能ではないのかという意見が十数校から出ていた。公平性と重なるものも数校含まれている。一方で、学習の振り返りや学習の成果を行うことは重要だという記述もあり、高校教育においてポートフォリオを取り入れていくことそのものは肯定的に捉えていて、教育改善の手段としては有効であるとする高校も、それなりの数があることが確認された。入試にどう使うかに関しては、様々な意見があり、まとめることはできなかった。

【質問 14 について】 質問 13 での回答と重複するものが多かった。基本的には、学校間格差などから出てくる「公平性の担保が無理ではないか」という意見が 3 割程度見られた。学校間格差と明記してある高校が質問 13 よりも増えていた。質問 13 で単純に公平性と言っている場合も質問 14 では学校間格差と書いている高校が結構見られた。それ以外で 10 校に満たない程度ではあったが、大学側で基準の透明性を担保することへの要求、大学側で基準を統一して欲しい、大学側の基準がはっきりしない、といった指摘もあった。

調査書の利用に関して、推薦入試や AO 入試での積極的利用については賛成するという意見が 20 校以上あった。いわゆる受験校ではないところが多かったが、たとえ学校間格差によって評定平均の値が違っていても、面接の際に純粋に受験生どうしを比較すれば、学校間格差で評定平均の違いは吸収されるはずであるという意見、また、主体性の記述に関しても面接の中で確認していくことにより、どの程度頑張ったかは評価できるはずだという意見が合わさったものであった。

【質問 15 について】 単純に共通試験の中に残すべき、または残して欲しい、という意見が約 30 校であった。ただし、この中には現行のセンター試験の英語の内容を見直すというものも含まれている。残すかどうかは明記していないが、民間に委託と言うことそのものに反対（本当に公平なのか、金銭的な負担が大きい、が理由）が約 20 校であった。民間試験でもかまわないという回答が 15 校であったが、あくまで公平性が担保できて、金銭的な負担増が解決するのであればという付帯条件がついているものが、その中の半数以上であった。

【質問 16 について】 ものすごく多様な記述だったので整理することは出来なかったが、「働き方改革」と

いう記述は多かった。高校教員にとって、どのような変更にしても負担が大きく増えるだけであり、何が働き方改革だ・・・という趣旨のものが大部分であった。受験生にとって、その苦労が必要であればやむを得ず、という内容の記述が半数以上であったことは、明記しておく。

5 まとめ

今回のアンケート結果については、すでに各大学で方針を発表した後のものなので、結果そのものについては今更になってしまった。ただし、各高校に依頼文を送付してから 40 日足らずの間に、これだけの高校から回答があったという点は重要である。それだけ関心が高かったと言うこともあるが、紙媒体ではここまで集まらなかったのではないかとと思われる。特に、自由記述欄は字数制限がなかったので、相当長い記述を入力した高校も多々あった。筆者に、もっと優れた自由記述の解析手法があれば、有用な情報を引き出すことができたのではないかとと思われる。4 技能試験について 6 年一貫の高校から、「大分前に中学入試で、英語 4 技能試験への対応をうたって募集したのに、今更トーンダウンされると困る」という意見もいくつかあった。高校名を明記しているのに、本当に忌憚らない回答が得られた現れと考えている。大学側としては、そのような観点を持っていなかったのも、その点では大変良い勉強になった。全体を通して感じたのは、このアンケートを採った時点で、高校の温度差が予想以上に大きいという点である。県ごとにまとまった意見という傾向も見られなかったのも、県教委からの統一見解のようなものはなかったと思われる。それ故に、ますます温度差が大きくなったのかもしれない。このアンケート結果が各大学の決定にどの程度影響を与えたのかは不明であるが、依頼の手紙を送っただけで、かなり迅速に対応してもらえることが確認できただけでも、十分な成果だと考えている。静岡県はこちらの手違いで、送付がかなり送れてしまったが、一週間以内に約 40 校から回答を得ることができた。

Web アンケートは、設置が難しいのではという危惧もあったが、それほどはなかった。アンケートの回答状況を見てみると、1 日に 100 件近くは処理可能であり、短期間に沢山の結果を集めることができる有用な手段であることが確認できた。些末なことではあるが、今回のシステムでは、データは tsv (タブ区切り形式) で出力されている。一般的なカンマ区切りの csv だと、自由記述を英語で答えられた場合、予想外のところで区切られてしまう危険がある。これを

回避するのに、有効な形式であることは留意するに値すると思われる。